

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組

キャッチフレーズ：いいっちゃね、みやぎ仙南！「みやぎ蔵王」ブランドを広域で推進！

＜計画期間で対応が必要な取組＞

（1）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

①安全安心対策の情報発信及び安全安心対策や新たなビジネスモデル転換への支援

②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備

【白石市】地域おこし協力隊を活用した観光振興事業

【蔵王町】体験交流活動に係る情報発信用プラットフォーム整備事業

【七ヶ宿町】農業体験などによる宿泊型交流事業

【七ヶ宿町】南蔵王やまびこの森整備事業

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

【白石市】国道113号観光推進協議会事業

【角田市】サイクルツーリズム推進計画策定

【蔵王町】ダイレクトメール発送業務

【七ヶ宿町】七ヶ宿ファンクラブ事業

【七ヶ宿町】七ヶ宿ブランド事業

【大河原町】みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業

【村田町】地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業【武将カート】

【村田町】FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド

【村田町】観光HP構築事業

【村田町】商店街にぎわい創出事業、生活応援スタンプラリー事業

【柴田町】ガーデンツーリズム推進事業

【柴田町】ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業

【柴田町】交流人口拡大事業

【川崎町】ふるさと応援商品券発行事業

【川崎町】包括的シティプロモーション事業

【丸森町】丸森町町内経済活性化事業

【大河原地振】広域観光・物産情報の発信強化事業

【大河原地振】広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化

【大河原地振】仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

（2）広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

①みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案

【大河原地振】みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議開催事業

②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進

再【白石市】地域おこし協力隊を活用した観光振興事業

【角田市】イベント運営事業

【蔵王町】蔵王町体験交流活動推進協議会事業

再【七ヶ宿町】七ヶ宿ブランド事業

- 【七ヶ宿町】仙南地域地場産業振興協議会事業
- 【大河原町】食のブランド化事業
- 【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業
- 再【大河原地振】広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化
- 再【大河原地振】仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信

- 再【白石市】国道113号観光推進協議会事業
- 再【村田町】観光HP構築事業
- 再【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業
- 再【川崎町】包括的シティプロモーション事業
- 再【大河原地振】広域観光・物産情報の発信強化

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

- 再【白石市】国道113号観光推進協議会事業
- 【白石市】みちのく真田ゆかりの地事業
- 【角田市】阿武隈急行沿線開発推進協議会事業
- 再【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業
- 再【大河原地振】広域観光・物産情報の発信強化事業

(3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

- 再【白石市】地域おこし協力隊を活用した観光振興事業
- 【角田市】グリーンツーリズムによる体験型観光の実施
- 再【蔵王町】蔵王町体験交流活動推進協議会事業
- 再【七ヶ宿町】農業体験などによる宿泊型交流事業
- 再【七ヶ宿町】南蔵王やまびこの森整備事業
- 再【七ヶ宿町】七ヶ宿ファンクラブ事業
- 再【村田町】地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業【武将カート】
- 再【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業
- 【柴田町】光のまちづくり推進事業（ナイトツーリズム）
- 【丸森町】まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会事業
- 再【大河原地振】仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

- 再【角田市】サイクルツーリズム推進計画策定
- 再【大河原町】みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業
- 再【柴田町】ガーデンツーリズム推進事業
- 再【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業
- 再【大河原地振】広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化

(4) 仙南地域の観光を支える人材育成

①観光地域リーダー育成研修、観光地域づくりの意識啓発

- 【大河原地振】仙南地域観光人材育成事業

(5) インバウンド受け入れ体制の強化

- ①多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信
再【柴田町】「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業

- ②観光施設等における多言語案内表示等の整備

- ③宿泊施設や観光施設における無線LAN環境の整備

＜中長期的に対応が必要な取組＞

(6) 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進

- ①国外・県外からの誘客に向けたプロモーション
再【大河原地振】仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

(7) 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化

- ①仙南地域の総合観光情報発信サイトの運営

- ②MaaSと関連付けた交通ネットワークの充実や分かりやすい観光サインの整備

(8) 仙南地域の観光を支える人材育成

- ①教育現場における子ども達の地元愛醸成
【大河原地振】小中学生キャリア教育プログラム

- ②地域住民による地域資源発掘や理解醸成、観光による持続可能な地域づくりへの啓発
再【大河原地振】仙南地域観光人材育成事業

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------|---|----|------|------------------------|--------------------------------------|---------------------------|--|----------------------|--|---|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等。新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊を活用した観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2～ | 甲冑体験は、白石城が令和4年2月から10月まで災害復旧工事中であったことから、屋外やイベント会場等に出向いて実施した。また、白石城本丸広場でのキャンペーン開催やオリジナル白石温麺の製作など、本市の特性を生かした新しい取り組みに挑戦している。このほか、SNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、雑誌やテレビ、プロモーション動画への出演など、メディアに取り上げてもらうことで、白石市のプロモーションの一役を担っている。 | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等。新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 蔵王町 | 蔵王町 | | 体験交流活動に係る情報発信プラットフォーム整備事業 | | | 既存の町公式ホームページ内に「蔵王町体験交流活動推進協議会」に係るページを新規に作成。(R5.4.1-公開予定) 現在fax、メールで事務進行している旅行代理店や教育機関に対して、問い合わせフォームから希望内容の聞き取りが可能になった。 体験活動内容の修正や、新規追加(削除)も担当職員によるホームページ編集で対応が可能になった。 | 体験活動内容の修正や、新規追加(削除)。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等。新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 農業体験などによる宿泊型交流事業 | 宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。 | R1～ | ベガルタ仙台と共同で行っているベガルタハウスで育てたジャガイモ等の収穫、春に植えた野菜の秋の収穫祭などを行い多くの方に参加いただいた。また、収穫したジャガイモはベガルタ仙台の試合会場で販売し多くの方にご好評いただいた。 | (株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通してイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等。新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 南蔵王やまびこの森整備事業 | 南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをおとて地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。 | R1～ | 4月から10月のキャンプ場運営に加え、管理棟のカフェでの新メニュー提供、長老湖でのCafe営業を実施した。長老湖を利用した SUP体験についても昨年より利用者が増加しており、多くの方に好評をいただいた。 | キャンプ場運営等の既存事業のほか、施設を利用したイベントの実施、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用するなど、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めている。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | 「みちのくおとぎ街道スタンプラリー」を令和4年7月23日から10月23日まで開催、抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけ・みちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力をPRした。 | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を得られるよう事業内容を工夫して実施する。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 角田市 | 角田市 | | サイクルツーリズム推進計画策定 | 令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリングの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。 | R4 | 公募型プロポーザル方式により委託業者を決定し、現在ルートの調査分析やサイクリストへのアンケート実施した。12月2日にサイクリストなどの有識者を含めた会議を実施し、現在の課題を把握したので、2月に来年度に向けた環境整備やイベントの企画について会議を実施する予定。 | サイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画を予定。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 蔵王町 | 蔵王町 | | ダイレクトメール発送業務 | 町内観光施設や近隣施設をはじめ、関東や仙台空港直行便がある関西方面をターゲットに各宮城県事務所を通して、宮城県にゆかりの飲食店や土産店へ観光パンフレットを配架し観光PRを行う。 | R2～ | クーポン付きのリニューアル版観光パンフレットを仙台市太白区の住宅地域を中心とした約6万世帯へ3月中旬に配布予定。 | 町内観光施設や近隣施設へ配架し、引き続き観光PRに努める。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 七ヶ宿ファンクラブ事業 | 「人と場所」や「人と人」の関係性を大切に、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。 | H28～ | ファンクラブ入会規約と会員サービスを見直し、より多くの方が入会して町内に足を運んでいただけるような工夫を施した。 | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信していく。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | ・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会 | 七ヶ宿ブランド事業 | 七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。 | H28～ | 7品のブランド品の認定更新のほか、1品の新たなブランド品の認定が行われた。また、七ヶ宿ブランド専用販売台を制作、設置し、七ヶ宿ブランドの周知と販売促進を図る。 | 既存ブランド品のパッケージ更新のほか、ブランド品の更新認定を行うと共に新規認定品の発掘にも取り組む。町内の直売施設やイベント等での販売のほか、町公式ショッピングサイト「ないろストア」、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行うと共に、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの認知を図っていく。 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------|---|----|------|------------------------|---|---|---|----------------------|--|--|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 大河原町 | 仙南2市7町 | | みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業 | 仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。 | R1~ | ・フォトコンテスト実施済み、応募点数149点の内、グランプリ1点、2市7町賞9点を選定。仙南の物産品を贈呈。 ・初級サイクリスト体験ライド ・白石市・七ヶ宿町・川崎町コース実施済み、村田町コース実施予定 ・デジタルスタンプラリー(蔵王三十六景との連携を模索)R4はスポット選定のみの(事務局案を策定中) ・令和4年10月7日(金) 道の駅かくた サイクルキャラバン(主催:(一社)自転車協会)への協力 ・令和5年3月4日(土) えぞこホール サイクルツーリズム推進セミナー開催 講師:NPO法人シクロツーリズムしまなみ ポタリングガイド宇都宮一成氏 ・SNS発信 随時実施 | ・みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー ・受け入れ環境整備(サイクルラック設置等) ・SNS発信 | 市町村振興総合補助金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 村田町 | 村田町観光物産協会 | スポーツランドSUGO | 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武将カート】 | 村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。 | R4 | 10月23日(日)にイベント開催。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。カートのタイムトライアルや各武将隊の演舞披露があり、スポーツランドSUGOに新たな客層を獲得した。 | R5年度もイベントを実施する予定。内容については現在検討中。 | 観光庁 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 村田町 | 村田町スポーツランドSUGO | 宮城県・大河原地方振興事務所 | FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド | スポーツランドSUGOと村田町の共催で「FIMアジアロードレース選手権」を開催。スポーツランドSUGOでは15年ぶりとなる国際大会で日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦。今回のレースをきっかけにインバウンド観光客増を図る。 | R4 | 8月13日(土)~14日(日)の2日間大会が開催された。当日はスポーツランドSUGO内でアジアフードフェスティバルや、町中心部の蔵の町並み内で、蔵の緑日イベントが併催され賑わいをみせた。 | 6月24日(土)~25日(日)の2日間、開催予定。インバウンド誘客増を図る。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 村田町 | 村田町観光物産協会 | 村田町 | 観光HP構築事業 | 観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う | R2~ | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図った。 | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。 | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 村田町 | 村田町商工会 | 村田町 | 商店街にぎわい創出事業、生活応援スタンプラリー事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る | R2~ | 6月と10月にスタンプラリーイベントを実施。町内飲食店や店舗の周遊を促し、売上増を図った。 | そら豆が旬の時期である6月と、新そばの提供が始まる10月にスタンプラリーイベントを実施。町内の方及び町外観光客向けに、飲食店や店舗の周遊を促し、魅力の発信と売上増を図る。 | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 柴田町 | 柴田町 | みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会(県南2市9町) | ガーデンツーリズム推進事業 | ・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。 | R2~R4 | ・協議会委員を対象に、「広域連携・広域観光」をテーマとした研修会を開催(2回)。 ①令和4年12月26日(月)開催(行政委員向け) ②令和5年3月3日(金)開催(民間委員向け) ・域内の情報を集約したホームページを作成中。 | 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和5年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 | 市町村振興総合補助金 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 柴田町 | 柴田町 | 柴田町観光物産協会 | ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業 | 感染対策を強化した新しい形のイベント | R4 | しばたオータムガーデンフェスタを10月29日(土)、30日(日)の2日間で開催。コンサートや多肉植物のワークショップ等を行い、1,400人の来場があった。 | しばたオータムガーデンフェスタ(10月下旬) | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 柴田町 | 柴田町 | 「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 みやぎ大菊花展柴田大会実行委員会 | 交流人口拡大事業 | 一年を通した「花のまち柴田」の四季の花まつり | | ・しばた紫陽花まつり(6月17日~7月10日) 期間中11,393人来場 ・しばた曼珠沙華まつり(9月17日~10月2日) 期間中10,176人来場 ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日~11月13日) 期間中5,246人来場 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日~30日) 期間中15,416人来場 ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月12日予定) | ・しばた紫陽花まつり(6月中旬~7月上旬予定) ・しばた曼珠沙華まつり(9月中旬~10月上旬予定) ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日~11月13日予定) ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬~下旬予定) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月中旬予定) | 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 川崎町 | 川崎町商工会 | 川崎町商工会 | ふるさと応援商品券発行事業 | 町内全世帯へ商品券を配布することにより、消費喚起及び地元のよさを再発見する機会の創出を図る。 | R2~ | 6月より順次配布を開始し、8月に追加で第2弾として、1人当たり5,000円分の商品券を配布。 | ・町民1人あたり6,000円分の商品券を配布し、約54,600千円の需要を創出する計画。 ・令和5年6月より順次配布を開始し、7月1日から令和6年2月29日までの期間で使用率の向上を図る。 | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 川崎町 | 川崎町 | | 川崎町総合観光・物産情報誌作製事業 | 観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客を図る。 | R5 | - | 秋の行楽シーズンに向けた作製予定 | 町費 |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|---|---|----|-------|---|--|-----------------------------|---|----------------------|---|---|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 川崎町 | 川崎町 | | 包括的シティプロモーション事業 | 新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。 | R3~ | ・Youtubeコンテンツを月2回のペースで配信 ・ラジオ番組を月2回のペースで放送中 | ・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作 ※一般財源 | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 丸森町 | 丸森町 丸森町商工会 | 丸森町商工会 | 丸森町町内経済活性化事業 | 新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の活性化を図る。 | R3~ | 【5割増商品券販売会】 ・R4年6月18日、19日に販売会を実施。1セット7,500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で15,000セット販売した。使用期限は、R4.9月末まで。 【商品券全世帯配付】 ・R4年10月に町内全世帯(約5,000戸)に対し、地域商品券10,000円分を配付(郵送)。使用期限は、R5.3月末まで。 | 実施予定なし 【5割増商品券販売会】 ・R5年7月22日に販売会を実施予定 1セット7,500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で10,000セット販売予定 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | ・twitterキャンペーンを3回実施(令和4年6月6~15日、9月12~21日、令和5年2月1日~10日)フォロワー数:約10,000人 ・公式Instagram開設(4月12日)フォロワー数:約500人 ・仙南地域のひな祭り振興のため、「ひなの郷せんなん」と題し、一体的PRを敢行(リーフレット・ポスター・共通のぼり旗の作成、リーフレットへのひな祭り限定スイーツメニューの掲載) ・仙南地域及び隣接する山形県置賜地域・福島県東北地域の各地域のひな祭りイベントや観光施設を巡りながら、地域の食や観光資源の魅力体験する日帰りバスツアー「令和4年度南東北ひな巡り&食の魅力体験ツアー」を2回実施(令和5年2月25日、3月4日) | ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月~11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月~3月) | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会(大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | ・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進、「食」のブランド化 | ①仙南・置賜連携事業「おでかけむそーらり〜」 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30~ | ・「仙南ねこまさぐん」と「置賜 かねたんぐん」のどちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを競う周遊イベント「おでかけむそーらり〜」を実施(10/1~11/30)。参加者は481人。 ・仙南の麺を堪能! 白石温麺「おくずかけ」×そばキャンペーンを実施(10/1~11/30)。そば5店舗、おくずかけ7店舗参加。11月30日までに578個のグッズを配布した。 ・仙南スイーツPRのぼり旗の作成 ・山形県、福島県の道の駅と連携したマルシェ(11月5~6日)の開催。農産物や加工品、菓子の販売で仙南地域の事業者4店舗出展(2日間売上計26万円程度)。当部では観光PR(豆つかみゲーム参加者293人)を行った。全体のイベント来場者数は5,773人。 ・管内道の駅と連携したスイーツマルシェの開催(4月24日:道の駅かくだ(5店舗出店、売上計26万円程度)、5月28~29日:おもしろい市場(9店舗出店、売上計79万円程度)、11月12~13日:道の駅村田(7店舗出店、売上計52万円程度) ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折りリーフレットの作成 ・「地域の逸品」として6品の新規推奨 ・温泉施設9か所での動画撮影及び編集、発信 ・県制150周年記念と併せた特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ! 2022」を開催(7月~9月)応募総数1004通 ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催(9月~11月)コース踏破応募総数229通 ・みやぎ仙南サイクルリズム推進会議体験ライドでの補給食等提供等を通じた観光PR(4回) | 【3県連携事業】 ・各地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画 ・道の駅ふくしまでのマルシェ開催 【大河原地振事業】 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し麺」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 【温泉PR動画の制作と情報発信(県南地域部会)】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ!」 ・仙南「推し麺」キャンペーン(地振と共催) ・サイクルリズム推進会議事業との連携 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 | 仙南アドベンチャーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4~R6 | ・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11~12) ・モニターイベント「自然と遊ぼう! 魅力いっぱい宮城・仙南エリア! 親子向けモニターイベント」を2回実施【1回目】角田市・丸森町(令和4年11月19日)【2回目】川崎町(令和4年12月10日) | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9~11月) | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ①みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案 | | 大河原地振 | 大河原地振 | みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 | ブランド創造会議開催事業 | 仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。 | 継続 | ①ブランド創造会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏域会議との併催(第1回:6/10、第2回:11/4、第3回:3/7) ・第5期みやぎ観光戦略プランの検討、仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認と総括、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 | ①ブランド創造会議開催(みやぎ観光振興会議仙南圏域会議との併催(年3回程度)) ・第5期みやぎ観光戦略プランに基づく取組の進捗確認、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会(必要に応じて開催) ・みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|---|---------------------------------------|----|------|------------------------|---|---|---|----------------------|---|--|--------------------|
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊を活用した観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2～ | 甲冑体験は、白石城が令和4年2月から10月まで災害復旧工事中であったことから、屋外やイベント会場等に出向いて実施した。また、白石城本丸広場でのキャンペーン開催やオリジナル白石温麺の製作など、本市の特性を生かした新しい取り組みに挑戦している。このほか、SNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、雑誌やテレビ、プロモーション動画への出演など、メディアに取り上げてもらうことで、白石市のプロモーションの役を担っている。 | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 角田市 | 角田市 | ・亘理町 ・山元町 | イベント運営事業 | 登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。 | 継続 | 10月22日(土) 参加者:29名 講師:NPO法人 山元・あしたの響き 2名 亘理町のいちごの悠里、山元町のゆずマドレーヌ、角田市のガブドラをお土産として参加者へ提供。登山ルートを変更しながら毎年の恒例イベントとして実施している。 | ・関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かしたお土産セット(菓子類)を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(10月21日(土)予定) | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 蔵王町 | 蔵王町 | (一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他 | 蔵王町体験交流活動推進協議会事業 | 蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。 | 継続 | 教育旅行5校(県内4校、県外1校)受入…計829名 (乳製品づくり体験、釣り体験、陶芸体験、こけし館見学、果物狩り体験(梨)) 活動の新規受入先開拓のため、教育旅行受入プログラム検討会を開催(R5.1.25.11名参加、R5.2.2.10名参加) | ・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信 ・教育旅行セミナーへの参加 ・情報発信用プラットフォームの整備 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | ・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会 | 七ヶ宿ブランド事業 | 七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。 | H28～ | 7品のブランド品の認定更新のほか、1品の新たなブランド品の認定が行われた。また、七ヶ宿ブランド専用販売台を制作、設置し、七ヶ宿ブランドの周知と販売促進を図る。 | 既存ブランド品のパッケージ更新のほか、ブランド品の更新認定を行うと共に新規認定品の発掘にも取り組む。町内の直売施設やイベント等での販売のほか、町公式ショッピングサイト「なないろストア」、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行うと共に、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの認知を図っていく。 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 七ヶ宿町 | 仙南2市7町 | | 仙南地域地場産業振興協議会 | 仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。 | 継続 | R4年度より事務局は七ヶ宿町。 10月17日(月)～21日(金)仙南うまいもの市(県庁販売)を実施。 12月3日(土)～4日(日)仙南フェア(仙台駅東西自由通路ガレリア)を実施。 | 東京池袋のふるさとプラザにて物産展を開催予定。そのほか冬季の県庁販売会や物産イベントを開催予定。 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 大河原町 | 大河原町 | 大河原町観光物産協会 | 食のブランド化事業 | 地域食材を活用した名物づくり | R1～ | コロナ禍により中止 | 令和5年度で実施予定 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多様な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月2日～R5.1月9日) 期間中4,000人来場 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 期間中15,416人来場 【2町共通】 ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。 | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|---|---------------------------------------|----|-------|---|--|---|---|----------------------|---|--|--------------------|
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | ・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化 | ①仙南・置賜連携事業「おでかけむそーらり〜」 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30~ | ・「仙南ねこまざぐん」と「置賜 かねたんぐん」のどちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを競う周遊イベント「おでかけむそーらり〜」を実施(10/1~11/30)。参加者は481人。 ・仙南の麺を堪能！白石温麺『おくずかけ』×そばキャンペーンを実施(10/1~11/30)。そば5店舗、おくずかけ7店舗参加。11月30日までに578個のグッズを配布した。 ・仙南スイーツPRのぼり旗の作成 ・山形県、福島県の道の駅と連携したマルシェ(11月5~6日)の開催。農産物や加工品、菓子の販売で仙南地域の事業者4店舗出展(2日間売上計26万円程度)。当部では観光PR(豆つかみゲーム参加者293人)を行った。全体のイベント来場者数は5,773人。 ・管内道の駅と連携したスイーツマルシェの開催(4月24日:道の駅かくた(5店舗出店、売上計26万円程度)、5月28~29日:おもしろい市場(9店舗出店、売上計79万円程度)、11月12~13日:道の駅村田(7店舗出店、売上計52万円程度)) ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折リーフレットの作成 ・「地域の逸品」として6品の新規推奨 ・温泉施設9か所での動画撮影及び編集、発信 ・県制150周年記念と併せた特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」を開催(7月~9月)応募総数1004通 ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催(9月~11月)コース踏破応募総数229通 ・みやぎ仙南サイクルーツリズム推進会議体験ライドでの補給食等提供等を通じた観光PR(4回) | 【3県連携事業】 ・各地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画 ・道の駅ふくしまでのマルシェ開催 【大河原地振事業】 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し麺」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 ・温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 ・仙南「推し麺」キャンペーン(地振と連携) ・サイクルーツリズム推進会議事業との連携 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 | 仙南アドベンチャーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4~R6 | ・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11~12) ・モニターイベント「自然と遊ぼう！魅力いっぱい宮城・仙南エリア！親子向けモニターイベント」を2回実施【1回目】角田市・丸森町(令和4年11月19日)【2回目】川崎町(令和4年12月10日) | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9~10月) | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和4年7月23日から10月23日まで開催。抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけ・みちのく」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力を取り上げた。 | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心をもらえるよう事業内容を工夫して実施する。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 村田町 | 村田町観光物産協会 | 村田町 | 観光HP構築事業 | 観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う | R2~ | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図った。 | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。 | 地方創生交付金 |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 2町共通の、一目千本桜花見マップを製作中。(3月完了予定) | ・2町共通桜パンフ、マップ製作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業(思い出フォトパネル、スタンプラリー等) | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 川崎町 | 川崎町 | | 包括的シティブロモーション事業 | 新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティブロモーションを実施するもの。 | R3~ | ・Youtubeコンテンツを月2回のペースで配信 ・ラジオ番組を月2回のペースで放送中 | ・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作 ※一般財源 | 地方創生交付金 |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策 大項目 | 圏域施策 中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業 期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|---|-------------------------------|----|-------|------------------------|---|---|--|--------------------------|--|---|--------------------|
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | <ul style="list-style-type: none"> ・twitterキャンペーンを3回実施(令和4年6月6～15日、9月12～21日、令和5年2月1日～10日)フォロワー数:約10,000人 ・公式Instagram開設(4月12日)フォロワー数:約500人 ・仙南地域のひな祭り振興のため、「ひなの郷せんなん」と題し、一体的PRを敢行(リーフレット・ポスター・共通のぼり旗の作成、リーフレットへのひな祭り限定スイーツメニューの掲載) ・仙南地域及び隣接する山形県置賜地域・福島県東北地域の各地域のひな祭りイベントや観光施設を巡りながら、地域の食や観光資源の魅力体験する日帰りバスツアー「令和4年度南東北ひな巡り&食の魅力体験ツアー」を2回実施(令和5年2月25日、3月4日) | <ul style="list-style-type: none"> ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月～3月) | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | <p>みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和4年7月23日から10月23日まで開催。抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけ・みちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載。各市町の秋の魅力をPRした。</p> | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を得られるよう事業内容を工夫して実施する。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | | 角田市 | 角田市 柴田町 丸森町 | ・阿武隈急行(株) ・沿線市町 | 阿武隈急行沿線開発推進協議会事業 | 阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進 | 継続 | <p>(1)沿線活性化事業の開催 ○あぶきゆうウォーク(11月27日開催) ・コース:角田駅～台山公園(往復)約2.7km 参加人数:83名</p> <p>○わたしたちのあぶくま急行絵画展(阿武隈急行列車内に12月1日～25日まで展示) ・沿線自治体の小学校低学年(1～2年生)の児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。</p> <p>(2)角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業 ○体験乗車会とお絵かきトレイン(11月26日開催) ・車両窓ガラスへのお絵かき体験等を車両を貸し切り行った。 ・125名応募の中から、抽選で26名(市内11名、市外15名)の親子が参加</p> <p>○阿武隈急行Instagram投稿キャンペーン(9月1日～10月31日まで) ・応募投稿数190件 受賞者:グランプリ3名 準グランプリ5名 入賞者5名</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | | 白石市 | 白石市 蔵王町 | 秋田県由利本荘市 | みちのく真田ゆかりの地事業 | 真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。 | 継続 | <p>10.1(土)白石市「鬼小十郎まつり」参加 10.22(土)～23(日)蔵王町「産業まつり」参加 11.5(土)～6(日)、長野県上田市「上田真田まつり」に協議会として参加</p> | 11.5(日)、長野県上田市「上田真田まつり」に協議会として参加予定 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | <p>【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月2日～R5.1月9日) 期間中4,000人来場</p> <p>【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 期間中15,416人来場</p> <p>【2町共通】 ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。</p> | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | <ul style="list-style-type: none"> ・twitterキャンペーンを3回実施(令和4年6月6～15日、9月12～21日、令和5年2月1日～10日)フォロワー数:約10,000人 ・公式Instagram開設(4月12日)フォロワー数:約500人 ・仙南地域のひな祭り振興のため、「ひなの郷せんなん」と題し、一体的PRを敢行(リーフレット・ポスター・共通のぼり旗の作成、リーフレットへのひな祭り限定スイーツメニューの掲載) ・仙南地域及び隣接する山形県置賜地域・福島県東北地域の各地域のひな祭りイベントや観光施設を巡りながら、地域の食や観光資源の魅力体験する日帰りバスツアー「令和4年度南東北ひな巡り&食の魅力体験ツアー」を2回実施(令和5年2月25日、3月4日) | <ul style="list-style-type: none"> ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月～3月) | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|---------------------------------------|--|----|------|------------------------|-----------------------------------|---|--|----------------------|---|--|--------------------|
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊を活用した観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2～ | 甲冑体験は、白石城が令和4年2月から10月まで災害復旧工事中であったことから、屋外やイベント会場等に出向いて実施した。また、白石城本丸広場でのキャンペーン開催やオリジナル白石温麺の製作など、本市の特性を生かした新しい取り組みに挑戦している。このほか、SNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、雑誌やテレビ、プロモーション動画への出演など、メディアに取り上げてもらうことで、白石市のプロモーションの役を担っている。 | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 角田市 | 角田市 | | グリーンツーリズムによる体験型観光の実施 | 道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進 | R4 | 6月16日 梅もぎとり収穫体験と納豆工場見学 32名 10月2日 秘伝枝豆収穫体験 411名 11月5日・6日 ねぎまつり(ねぎ収穫体験) 1,800名 | 6月 梅もぎとり収穫体験 7月 酪農場と枝豆収穫体験 8月 どうもろこし収穫体験 9月 梨もぎとり体験 10月 枝豆収穫体験 11月 ねぎまつり(ねぎ収穫体験) | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 蔵王町 | 蔵王町 | (一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他 | 蔵王町体験交流活動推進協議会事業 | 蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。 | 継続 | 教育旅行5校(県内4校、県外1校)受入…計829名(乳製品づくり体験、釣り体験、陶芸体験、こけし館見学、果物狩り体験)活動の新規受入先開拓のため、教育旅行受入プログラム検討会を開催(R5.1.25.11名参加、R5.2.2.10名参加) | ・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体との連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信 ・教育旅行セミナーへの参加 ・情報発信用プラットフォームの整備 | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 農業体験などによる宿泊型交流事業 | 宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。 | R1～ | ベガルタ仙台と共同で行っているベガルタハウスで育てたジャガイモ等の収穫、春に植えた野菜の秋の収穫祭などを行い多くの方に参加いただいた。また、収穫したジャガイモはベガルタ仙台の試合会場で販売し多くの方にご好評いただいた。 | (株)ベガルタ仙台とセックスマちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通じたイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校やセックスマちづくり自然休養公園運動広場(スポーツパークセックスマちづくり)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。 | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 南蔵王やまびこの森整備事業 | 南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをとおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。 | R1～ | 4月から10月のキャンプ場運営に加え、管理棟のカフェでの新メニュー提供、長老湖でのCafe営業を実施した。長老湖を利用した SUP体験についても昨より利用者が増加しており、多くの方に好評をいただいた。 | キャンプ場運営等の既存事業のほか、施設を利用したイベントの実施、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用など、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めていく。 | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 七ヶ宿ファンクラブ事業 | 「人と場所」や「人と人」の関係性を大切に、当町の応援となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。 | H28～ | ファンクラブ入会規約と会員サービスを見直し、より多くの方が入会して町内に足を運んでいただけるような工夫を施した。 | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信していく。 | |
| (2)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 村田町 | 村田町観光物産協会 | スポーツランドSUGO | 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武将カート】 | 村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カーや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。 | R4 | 10月23日(日)にイベント開催。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。カートのタイムトライアルや各武将隊の演舞披露があり、スポーツランドSUGOに新たな客層を獲得した。 | R5年度もイベントを実施する予定。内容については現在検討中。 | 観光庁 |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 柴田町 | 大河原町柴田町 | | 「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在型コンテンツの強化による魅力アップ強化事業) | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月2日～R5.1月9日)期間中4,000人來場 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日)期間中15,416人來場 【2町共通】 ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月上旬～1月上旬予定) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬～下旬予定) 【2町共通】 ・「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンブラー等のイベントを実施予定。 | |
| (3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 柴田町 | 柴田町 | ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 光のまちづくり推進事業(ナイトツーリズム) | オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。 | 継続 | 令和4年12月2日(金)～30日(金)の期間で開催、15,416人の来場客があった。期間中はライトアップされたスロープカーの運行やキッチンカーが出店。 | ・Shibata Fantasy Illumination 2023開催 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^(注4) |
|--|--|----|-------|------------------------|--------------------------------|----------------------|---|----------------------|---|--|--------------------|
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 丸森町 | (一財)丸森町観光物産振興公社 | まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会 | グリーン・ツーリズムと運動した旅行業展開 | まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森「こらいん」ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を造成・販売 | 継続 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン予約販売企画 <ul style="list-style-type: none"> 「丸森食を知る×学ぶ×味わう会」(5/22(日)、参加者9名で開催) 「七夕神社周辺をめぐり はた織り体験」(最少催行人員にとどかず催行中止) 「丸森のオオカミ信仰」(最少催行人員にとどかず催行中止) 「伊具高校生考案 手ぶらで堪能日帰りBBQツアー」(最少催行人員にとどかず催行中止) ○季節の食のPR企画 <ul style="list-style-type: none"> 「丸森食を知る×学ぶ×味わう会」(5/22(日)、特産のたけのこをPR) 「栗拾いイベント☆栗畑でカフェタイム」(9/25(日)、参加者21名で開催) 「俳句を詠むワークショップ+丸森のうまいものちよこっと満喫」について、(最少催行人員にとどかず催行中止)。 「JAみやぎ仙南マルシェin丸森」にて、姉妹都市端野町の農産物をPRするため、町内のキッチンカーにてコラボメニューを販売。 MARUMORI CAFE、ジャガイモと玉ねぎたっぷりのチキンカレー、じゃがバター、〇〇とコーヒージャがいものオープン焼き。 ○上記の他に実施した企画 <ul style="list-style-type: none"> 「カマラオトモに丸森あるき」春巡り(4月10日(日)、参加者11名で開催) 「ブラマルモリ丸森中心部のモニター」(6月19日(日)、参加者12名で開催) 「ブラマルモリ『町場替』と災害との関連を探る旅」(10月10日(月・祝)、参加者13名で開催) 「ころ柿作り体験会in耕野」(11月23日(水・祝)、11月27日(日)、計41名で開催。) 「猫さま小道さんぽ：「町なか編」9名(5月25日(水)2名、10月25日(火)1名、10月29日(土)5名、1月29日(日)1名)「お不動さん編」1名(11月1日(火))計10名受け入れ。 ○受け入れコンテンツのための資料、マップ制作検討 伊具高校生が考える丸森のおススメ観光のリーフレット制作に協力。完成したものは、校内の学習発表会にて活用したほか、取材先に配布。猫神祭(2/23)では配布予定。 「不動尊公園周辺散策マップ」について、内容を更新。 | <ul style="list-style-type: none"> ○七夕神社周辺を巡るツアー企画 <ul style="list-style-type: none"> ・大内地区に残る「七夕」という地名と「七夕神社」周辺を巡るツアー企画を7月に実施予定。それに合わせて、ツアーの時以外にもお客さまを呼び込むため、また知名度を上げるために、七夕神社の御朱印の制作を検討。 ○町歩き、地域歩き企画 <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は大内の青葉温泉周辺の地域巡りなどを実施する予定で検討中。他の案としては筆甫の鷺の平地域を候補として検討中。 ○栗拾い体験企画 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の好評を受けてR5年度も秋に実施予定。中心となっている地域おこし協力隊の方、今後の収入につながるよう現在検討中。 ○ころ柿作り体験 <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、開催予定。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4～R6 | <ul style="list-style-type: none"> ・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11～12) ・モニターイベント「自然と遊ぼう！魅力いっぱい宮城・仙南エリア」親子向けモニターイベントを2回実施【1回目】角田市・丸森町(令和4年11月19日)【2回目】川崎町(令和4年12月10日) | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9～11月) | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 角田市 | 角田市 | | サイクルツーリズム推進計画策定 | 令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリートレインの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。 | R4 | <ul style="list-style-type: none"> 公募型プロポーザル方式により委託業者を決定し、現在ルートの調査分析やサイクリストへのアンケート実施した。12月2日にサイクリストなどの有識者を含めた会議を実施し、現在の課題を把握したので、2月に来年度に向けた環境整備やイベントの企画について会議を実施する予定。 | <ul style="list-style-type: none"> サイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画を予定。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 大河原町 | 仙南2市7町 | | みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業 | 仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。 | R1～ | <ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト実施済み、応募点数149点の内、グランプリ1点、2市7町賞9点を選定。仙南の物産品を贈呈。 ・初級サイクリスト体験ライド <ul style="list-style-type: none"> 白石市・七ヶ宿町・川崎町コース実施済み、村田町コース実施予定 ・デジタルスタンプラリー(蔵王三十六景との連携を模索)R4はスポット選定のみ(事務局案を策定中) ・モニターイベント「自然と遊ぼう！魅力いっぱい宮城・仙南エリア」親子向けモニターイベントを2回実施【1回目】角田市・丸森町(令和4年11月19日)【2回目】川崎町(令和4年12月10日) ・令和4年10月7日(金) 道の駅かくだ サイクルキャラバン(主催：(一社)自転車協会)への協力 ・令和5年3月4日(土) えずこホール サイクルツーリズム推進セミナー開催 講師：NPO法人シクロツーリズムしななみ ポタリングガイド 宇都宮一成 氏 ・SNS発信 随時実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー ・受け入れ環境整備(サイクルラック設置等) ・SNS発信 | 市町村振興総合補助金 |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 柴田町 | 柴田町 | みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会(県南2市9町) | ガーデンツーリズム推進事業 | みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。 | R2～R4 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員を対象に、「広域連携・広域観光」をテーマとした研修会を開催(2回)。 ①令和4年12月26日(月)開催(行政委員向け) ②令和5年3月3日(金)開催(民間委員向け) ・域内の情報を集約したホームページを作成中。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和5年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 | 市町村振興総合補助金 町費 |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和4年度実績・令和5年度計画・進捗)

参考資料3

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^{注1)} | 他自治体・関係団体等との連携 ^{注2)} | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^{注3)} | R4年度実績 | R5年度計画・進捗 | 財源 ^{注4)} |
|--|---|----|-------|---|--|--|---|---------------------|--|--|-------------------|
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月2日～R5.1月9日) 期間中4,000人来場 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 期間中15,416人来場 【2町共通】 ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月上旬～1月上旬予定) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬～下旬予定) 【2町共通】 ・「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンブラー等のイベントを実施予定。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会(大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | ・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進「食」のブランド化 | ①仙南・置賜連携事業「おでかけむそーらり〜」 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30～ | ・「仙南ねこまさぐん」と「置賜 かねたんぐん」のどちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを競う周遊イベント「おでかけむそーらり〜」を実施(10/1～11/30)。参加者は481人。 ・仙南の麺を堪能！白石温麺「おくずかけ」×そば「キャンペーンを実施(10/1～11/30)。そば5店舗、おくずかけ7店舗参加。11月30日までに578個のグッズを配布した。 ・仙南スイーツPRのぼり旗の作成 ・山形県、福島県の道の駅と連携したマルシェ(11月5～6日)の開催。農産物や加工品、菓子の販売で仙南地域の事業者4店舗出展(2日間売上計26万円程度)。当部では観光PR(豆つかみゲーム参加者293人)を行った。全体のイベント来場者数は5,773人。 ・管内道の駅と連携したスイーツマルシェの開催(4月24日：道の駅かくた(5店舗出店、売上計26万円程度)、5月28～29日：おもしろい市場(9店舗出店、売上計79万円程度)、11月12～13日：道の駅村田(7店舗出店、売上計52万円程度) ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折りフレットの作成 ・「地域の逸品」として6品の新規推奨 ・温泉施設9か所での動画撮影及び編集、発信 ・県制150周年記念と併せた特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」を開催(7月～9月)応募総数1004通 ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催(9月～11月)コース踏破応募総数229通 ・みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議体験ライドでの補給食等提供等を通じた観光PR(4回) | 【3県連携事業】 ・各地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画 ・道の駅ふくしまでのマルシェ開催 【大河原地振事業】 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し麺」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 ・温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 ・仙南「推し麺」キャンペーン(地振と共催) ・サイクルツーリズム推進会議事業との連携 | |
| (4) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ①観光地域リーダー研修、観光地域づくりの意識啓発 | | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南地域観光人材育成事業 | 地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。 | R5 | — | 第1部セミナー&第2部ワークショップ形式で年5回程度の連続講座を開催 | |
| (5) インバウンド受け入れ体制の強化 | ①多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月2日～R5.1月9日) 期間中4,000人来場 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 期間中15,416人来場 【2町共通】 ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。 | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンブラー等のイベントを実施予定。 | |
| (6) 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ①国外・県外からの誘客に向けたプロモーション | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4～R6 | ・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11～12) ・モニターイベント「自然と遊ぼう！魅力いっぱい宮城・仙南エリア」親子向けモニターイベントを2回実施(1回目)角田市・丸森町(令和4年11月19日)【2回目】川崎町(令和4年12月10日) | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9～10月) | |
| (8) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ①教育現場における子ども達の地元愛醸成 | | 大河原地振 | 大河原地振 | 関係市町 | 小中学生キャリア教育プログラム | 地域産業の魅力に触れ、地域事業者等との交流の機会を通して小中学生の地域に対する愛着と誇りを醸成する。 | R5 | 管内小中学校を対象に、「蔵王ジオパークの取組」及び「地域の観光の取組」について、R5年度実施希望調査を実施。 | 総合的な学習の時間に実施「蔵王ジオパークの取組」 越河小4・5年、大鷹沢小5年、福岡小5年 「地域の観光の取組」 角田中1年、槻木小6年 | |
| (8) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ②地域住民による地域資源発掘や理解醸成、観光による持続可能な地域づくりへの啓発 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南地域観光人材育成事業 | 地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。 | R5 | — | 第1部セミナー&第2部ワークショップ形式で年5回程度の連続講座を開催 | |

注1) 仙南地域の行政・観光協会・商工会・民間事業者等を記載

注2) 他地域の自治体や、関係団体(協議会等)との連携による取組の場合は、「他自治体・関係団体との連携」欄に連携先を記載

注3) 事業年度の定めがあるものは事業年度を記載

注4) 各種交付金、補助金を活用した事業について記載